

02	まちの話題
04	特集1 介護予防教室
06	特集2 同和問題啓発強調月間
08	多久市からのお知らせ
13	あじさいへ行こう！
14	教育委員会だより
15	市長コラム
16	健康ノススメ
18	おたっしゅだより
20	まちのPickUPインフォメーション
24	Hi! POSE ほか

6月10日[Mon]

陸上優秀競技者が表敬訪問



▲優秀競技者章を受賞された古川さん（中央）、岸川さん（右）

日本陸上競技連盟より「優秀競技者章」を受賞した多久市出身の古川照哉選手、岸川壮選手が横尾俊彦市長を表敬訪問されました。

陸上競技に功績があった者をたたえる「優秀競技者章」は、中学と高校の部で各都道府県1人ずつに贈られており、両部門でそろって多久市の選手が選ばれるのは初めてとなります。

古川選手は「高校時代よりもさらに力をつけて、後輩たちにも負けずにしっかり努力を続けていきたい」、岸川選手は「これから練習を頑張って多久市から代表選手として出場したい」と今後の意気込みを話され、横尾市長は「今回の中学部門・高校部門でそれぞれ県内で1人しか選ばれないこの受章を励みとして今後も頑張っていたきたい」とエールを送りました。

6月19日[Wed]

多久ロータリークラブが図書を寄贈



▲図書を前に笑顔の古川会長（左から5人目）、石田教育長（左から3人目）、東原彦舎東部校の富増晃二校長（左から2人目）

多久ロータリークラブから市内義務教育学校3校に10万円相当の図書を寄贈いただきました。いただいた本は、各学校の司書が選書した生と死を考えるものや話題の本など計56冊です。

多久ロータリークラブの古川英敏会長は「子どもたちにたくさん本を読んでもらって、自分の夢や気持ち、これから先の人生設計に少しでも役に立てればと思います」と寄贈への思いを話されました。

石田俊二教育長は「さまざまな本を読むことでいろんな考え方に触れられ、成長への後押しになります」とお礼の言葉を述べました。

6月22日[Sat]

青少年育成市民大会 & 少年の主張発表会



▲賞状や盾を手にする16人の児童・生徒のみなさん

「青少年育成市民大会」と「少年の主張発表会」（主催：多久市青少年育成市民会議・多久市ライオンズクラブ）が、中央公民館で開催されました。

第一部の青少年育成市民大会では、青少年育成に貢献してきた6人と1団体を表彰。第二部では、市内義務教育学校の6年生10人と9年生6人が登壇し、将来の夢や新型コロナ、家族のことなどをテーマに、聴衆を前に堂々とスピーチしました。

石田俊二教育長は「日常生活で見聞きしたことから課題や問題と向き合い、解決につなげようとするみなさんの主張に、深い洞察力と考察力を感しました」と講評を述べました。

今月の論語

欺くこと勿かれ
而して之を犯せ

出典…憲問第十四

上司をだましてはいけないが、言うべきことはしっかり言うべきだ。

今月の帰宅放送は、
東原彦舎中央校9年の
大坪美優さんです。



多久市公式
X (旧Twitter)



多久市公式
YouTube



多久市公式
Instagram



多久市公式
Facebook

